

釧路湿原森林ふれあい推進センター 自然再生指導官
西松建設株式会社 北日本支社 CSR推進課課長
雷別ドングリ倶楽部

立野 政信
鈴木 俊史
尾山 仁

研究の背景・目的

釧路湿原森林ふれあい推進センターでは、釧路湿原上流の雷別地区国有林において、自然再生推進法に基づき釧路湿原保護のため、広葉樹の植樹や自然環境学習を通じて自然再生の取り組みを進めています。

植樹等の自然再生の取り組みは一般参加によるもの、雷別自然再生事業を推進するために組織された雷別ドングリ倶楽部により行われてきましたが、ノウサギの食害等により進行が遅れている状況にあります。

このことから、新たな試みとして産学官民連携による自然再生事業の取り組みを行いました。連携を進めることの動機、活動内容、問題点とその解決方法及び今後の活動について、それぞれの立場から検討を深めることにより今後、産学官民の連携を円滑に進めるための指針とします。

研究の内容・成果

「産」は、西松建設株式会社と西松建設の協力会であるNネット
「学」は、釧路工業高等専門学校
「官」は、北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター
「民」は、雷別ドングリ倶楽部

これらの連携による自然再生事業の取り組みにより

「産」では企業の社会的貢献活動が実践できたこと。

「学」では学生が自然環境学習を現場で体験できたこと。

「官」では事業の推進に寄与できたこと。

「民」では社会貢献ができ自分の成長に寄与できたこと。

などそれぞれの組織に成果が生まれました。

連携を進めるに当たって、それぞれの立場から検討したところ、今後の連携を円滑に進めるための課題等が把握できました。



産学官民連携による植樹風景



民による植栽木をノウサギの食害から保護するツリーシェルター設置の指導風景

産学官民連携
↓
WIN/WINの関係構築

今後の展開

産学官民連携による事業での取り組みが円滑に実行、推進される方法の構築